

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-247-6781

年度	令和4年度		
施設名	新潟市若者支援センター	所管部・課	教育委員会地域教育推進課
施設の設置目的	若者に交流や研修の場を提供し、すべての若者の健やかな成長を支援することにより、若者の社会的自立や職業的自立に向けた動機付け及び社会参加・社会参画の推進に資することを目的にします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R4.6.29
歳入		正職員	4	修正日	
歳出	5,616	会計年度任用職員	8	評価日	R5.7.20

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標					R4結果
1	市民	困難を有する若者やその保護者、関係者の相談を受け、適切な機関に繋がります。	相談受付数(件数)	487	644	616	640	574	R2年度の実績を参考とする。		新規相談者数は62件から85件へ増加したが、継続支援者が減少したため、総相談件数は目標に達しませんでした。	C:未達成
2	市民	若者が困難さを克服し、自信を回復するための支援講座を開設します。	若者自立支援事業等延参加者数(人)	803	344	412	410	1,069	前年度実績を参考とする。	にいがたクエスト、ユースキッチン、居場所事業、交流事業	R2、R3に一部中止していた交流事業が復活したことにより、参加者が大幅に増加しました。	A:達成(優)
3	市民	若者支援センターの認知度を高め、利用者の促進を図ります。	HPアクセス数(件)	4,933	5,192	6,183	6,180	11,293	前年度実績を参考とする。		市のホームページリニューアル後のアクセス数が伸びたことにより、目標値を大きく上回りました。	A:達成(優)
4	人材	多様化する相談内容や居場所に居る様々な若者に対応するため研修を行います。	研修会延参加者数(人)	63	41	44	44	68	前年度実績を参考とする。		R2、R3と新型コロナウイルス感染拡大の影響で各1回研修中止しましたが、R4は全4回実施できました。	A:達成(優)
5												
6												
7												
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<ul style="list-style-type: none"> ・相談者との面談から課題を整理し、支援目標・支援内容など支援策を設定して課題解決に適切な機関につないだり、居場所で継続的に支援したりします。居場所利用者においても、個人情報に留意して、利用者の状況を見ながら面談を継続し、利用者が安心して使える居場所運営を行います。 ・支援事業では、若者自身の自己肯定感を高め、社会的自立、職業的自立に向けたプログラムを実施します。 ・広報については、分かりやすい情報発信で、継続的な活動を行うとともに、困った時は当センターに相談する環境づくりを継続します。 ・研修については、全体研修や意見交換会などを通じて、ユースアドバイザーの資質向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者との個別面談を通して一人ひとりに応じた支援策等を設定すると共に、必要に応じて関係機関・団体の専門的支援で課題解決を行うための適切なつなぎを行いました。 ・居場所ではユースアドバイザーと連携して、継続的に支援を行いました。特に、居場所利用者には、個人情報に留意し、利用者が安心して使える居場所の運営を行いました。支援事業では、若者自身が社会的自立、職業的自立に向けたプログラムを実施しました。 ・広報については、関係機関、団体などの会合や情報交換会の機会に周知を行い、当センターに相談し易い環境づくりを行いました。 ・ユースアドバイザーの研修については、全体研修やグループワークでの意見交換会を行い、若者への見守り活動における課題等を話し合い、ユースアドバイザーの資質向上を図りました。 ・今後も困難を有する若者一人ひとりに応じた支援や取り組みを継続していきます。